

研究構想シート	学校名	邑南町立市木小学校
	氏名	駒川 央恵
A 研究主題 一人一人が自分らしく一生懸命学習し、力をつけようとする児童の育成 ～自己肯定感を高める一人一人の児童に合った支援を通して～		
B 研究の目的 自分らしく一生懸命学習し、力をつけようとする児童を育成するために、よりよい支援の方法を探る。		
C 子どもの実態  ・素直で優しい。  ・人とかかわる活動を楽しむことができるが、自分の考えや気持ちを言葉で表現することに抵抗を感じる児童もいる。  ・新しい環境に慣れることに時間がかかったり、初めての体験に不安や緊張感を持ったりする児童がいる。  ・学習面で困難を抱えている児童がいる。	E 手立て・内容（研究仮説）  ・個々の児童について、実態を把握し、一人一人の児童に合った支援を継続すれば、自己肯定感を高め、意欲的にいろいろな活動に取り組む力をつけるであろう。	D めざす子どもの姿  ・自分のよさに気づく。  ・互いのよさや頑張りを認め合う。  ・自分の課題も含めて、いろいろな活動を一步踏み出してやってみようとする。  ・やってみたことで自信をつける。
	F 検証方法  ・個々の児童の実態を把握する。  ・学級の児童の中から抽出児を決める。  ・抽出児童に対する支援方法を考える。  ・月一回の研究職員会で抽出児童と支援方法について情報交換を行い、記録をとる。  ・抽出児童の変容をみる。	

	<p>G 研究計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個々の児童の実態を共通理解する。</li><li>・抽出児童を決める。</li><li>・抽出児童について取り組む課題を決める。</li><li>・課題に対する支援方法を考える。</li><li>・抽出児童と支援方法について、月一回の研究職員会で情報交換をする。</li><li>・互いの授業を参観する。(児童の様子を見る。自分の指導に生かす。)</li><li>・抽出児童の変容を見る。</li></ul>	
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--